

外国語教育メディア学会（LET）関西支部中学高校授業研究部会・
京都教育大学英語の教え方研究会 主催

2017年度 7月例会のご案内

日時： 2017年 7月 9日（日）13:30～17:00

会場： 京都教育大学 CALL教室（1号館B棟4階）
（アクセスは<http://www.kyokyo-u.ac.jp/>から）

参加費： LET会員・・・・・・・・・・・・・・・・・・無料
京都外国語大学より良い英語教育を考える会会員・・・300円
学生・・・200円
一般・・・500円

問い合わせ先： 西本有逸（京都教育大学） yuitsu@kyokyo-u.ac.jp
鈴木寿一（京都外国語大学） juichisuzuki0011@gmail.com

13:10～ 受付
13:30 開会

プレゼンターに質問する力をいかに育てるか

京都教育大学 西本有逸

次期学習指導要領では、小中高の各学校段階の学びを接続させるため、国際的な基準を参考に、一貫した、聞くこと、読むこと、話すこと（やり取り）、話すこと（発表）、書くことの五つの領域が設定されます（四技能五領域）。

発表あるいはプレゼンテーションが盛んになりつつありますが、発表しっぱなしで終わるのではなく、聞き手が質問することで、やり取りが生まれるのではないのでしょうか。「的を射た質問をする能力」とはまさに21世紀型スキルのひとつなのです（トニー・ワグナー 2017. 『未来の学校—テスト教育は限界か』 玉川大学出版部）。

でも、この質問する力を育てることは並大抵ではありません。中高の教育現場や大学生の実態を観て、そう感じるのです。おそらく、処方箋や特効薬はないでしょうが、前座として議論する価値はあると思います。

途中休憩

グループ・プレゼンテーションの実践：そこに至るまでの指導と課題

大阪府立東百舌鳥高等学校 伊藤悌秀

どのようにすれば生徒が意欲的に英語学習をするかを考えた結果、発表活動が良いということに至った。しかも、個人ではなくグループで課題に取り組ませることで、一人一人に責任が生まれ、家庭学習もするのではないかと考えた。

従って、2 学年の最後の課題として、環境問題についてグループでプレゼンテーションをさせることにした。最終目標を設定したことで、コミュニケーション英語Ⅱの授業ではどのようなことをさせればよいか明確になった。ただ、同僚との兼ね合いも考慮しながらの実践でもあるので、全てが思い通りになったわけではないが、年度末に行ったグループ・プレゼンテーションでは、生徒は熱心に取り組んだ。

その成果と課題を踏まえて、今年度は3年生の大学進学クラスで調査毎のグループ・プレゼンテーションを行っている。即興性をもたせるため、6月からは聞き手に質問をさせ、発表者にはその質問に答えさせようと考えている。今回の例会では、成果と課題についてお話させていただきたい。日々悩みながら授業をしているので、普段の授業の改善点やグループ・プレゼンテーションの改善点を教えていただきたい。

17:00 閉会

会場までのアクセス：

1) 京阪電車利用の場合

- ・淀屋橋、天満橋、京橋からは、特急あるいは快速急行で丹波橋下車、普通あるいは準急電車に乗り換え、墨染駅下車（所要時間約40分）。徒歩約8分。
- ・四条からは、普通あるいは準急電車で墨染駅下車（所要時間約15分）。徒歩約8分。

2) JR京都駅よりJR奈良線利用の場合

JR京都駅でJR奈良線に乗り換え、普通電車でJR藤森駅下車（乗車時間約8分）。徒歩約3分。

3) 奈良方面より近鉄電車利用の場合

西大寺にて快速または快速急行に乗り換え、丹波橋下車。京阪本線普通あるいは準急電車に乗り換え、墨染駅下車（乗車時間約40分）。徒歩約8分。

お願い： 最近、メールアドレスを変更される方が増えておりますため、案内をお送りしても100名分以上が戻って来ます。今後、メールアドレスを変更される場合は juichisuzuki0011@gmail.com までお知らせください。

今後の予定：諸般の事情で日程・会場が変わる可能性もあります。

10月14日（土）LET 関西支部秋季研究大会 於）流通科学大学

11月12日（日）例会 於）京都教育大学

12月10日（日）例会 於）京都教育大学